

81. 曲線ノ長サノ有限性ヲ保ツ寫像ニ就テ

南雲道夫

年モ改マリ、次第ニ又敬物ノ大會が近ツイテ來タノデ、ソ
ロソロ年會ニ懇表ノ研究ヲ考ヘネバナラナイ頃トナリマシタ。
平日アマリ研究モシテ居ラヌノニ、紙上談話會デ度々打明ケテ
シマフト、大會デハ懇表スベキ種が無クナツテシマヒマスカラ
ナルベク紙上談話會ニハ不本意ナガラモ御無沙汰致シタイノヲ
ス。然シ翻ツテ考ヘテ見ルト物ハ考ヘ様デ、紙上談話會ニ出シ
タ事ト同ジコトヲ敬物ノ大會デ又繰返シテモ、別ニ支障ハ全ク
無イ筈。ノミナラズ平素皆様ノ耳ニサレタツマラヌ事ヲ再ビ大
會場デ講演スルトナレバ『ア、又アノ話カ!』トアツサリ聞イ
テ戴ケマス故、二三十分モカゝル様ナ話デモ、サツト十分カ五
分デスマセテ、長タラシク皆様ニ御迷惑ヲ掛ケズニスムデセウ。
勝手ナ事ヲ述ベタテニスミマセン、急イデ本論ニ入リマセウ。

扱テ 25 号デ距離空間 (*metrischer Raum*) ニ於ケル曲
線ノ長サヲ定義シマシタ。問題ハ『ニツ、互ニ *homöomorph*
ナ距離空間 $\mathcal{R}_1, \mathcal{R}_2$ がアツテ、 \mathcal{R}_1 ニ於ケル有限ナ長サノ曲線が
常ニ \mathcal{R}_2 ニ於ケル有限ナ長サノ曲線ニ對應スル様ナ \mathcal{R}_1 ト \mathcal{R}_2
トノ *topologische Abbildung* 如何』ト言フ事デス。一般
ノ場合ハ出來マセンガ、 \mathcal{R}_1 が *Kompakt* デ測地的 (\mathcal{R}_1 ノ任意ノ
二点 P, Q ニ對シテ、 $\rho(P, Q)$ ニ等シイ長サノ P, Q ヲ結ゲ曲線ガ
 \mathcal{R}_1 内ニ存在スルコト) ナ場合ニハ次ノ様ナ結果ヲ得マシタ。

\mathcal{R}_1 ノ任意ノ点 P, Q ニ對應スル \mathcal{R}_2 ノ点ヲ P', Q' トシ、 \mathcal{R}_1

ニ於ケル距離ヲ $\rho_1(P, Q)$, $\rho_2 =$ 於ケル距離ヲ $\rho_2(P', Q')$ トスル。シカラバ ρ_1 が測地的ニ $Kompakt$ ナル場合ニ於テ、曲線ノ長さノ有限性ヲ保ツ寫像ノタメノ充分條件ハ;

$$\rho_2(P', Q') \leq M \rho_1(P, Q) \quad (M > 0)$$

ナル有限ノ定数 M が存在スルコトナル。

〔証明〕 充分ナル事ハ明ラカデセウ。必要ナルコトハ帰謬法ヲ用ヒレバ出來マス。

$$\frac{\rho_2(P'_n, Q'_n)}{\rho_1(P_n, Q_n)} \rightarrow +\infty \quad \text{ナル点列ヲ考ヘマスト,}$$

ρ_1 が $Kompakt$ ナルカラ、 P_n, Q_n ハ一地点 A へ収斂スル様ニ選ビマス。($\rho_1(P_n, Q_n) \rightarrow 0$ トナリマス; $\rho_2(P', Q')$ が有界ナルカラ)。

又 P_n ヲ適當ニトバシテ取レバ

$$\frac{\rho_2(P'_n, Q'_n)}{\rho_1(P_n, Q_n)} > 2^n \quad \text{且ツ} \quad \sum_{n=1}^{\infty} \rho_1(P_{n-1}, P_n) = \text{有限}$$

トナリマス。自然数 N_n ヲバ

$$1 \geq \rho_2(P'_n, Q'_n) \cdot N_n > \frac{1}{2}$$

ナル様ニ選ビマス。シカラバ

$$\sum_{n=1}^{\infty} \rho_1(P_{n-1}, P_n) + N_n \{ \rho_1(P_n, Q_n) + \rho_1(Q_n, P_n) \} = \text{有限}$$

$$\sum_{n=1}^{\infty} \rho_2(P'_{n-1}, P'_n) + N_n \{ \rho_2(P'_n, Q'_n) + \rho_2(Q'_n, P'_n) \} = +\infty$$

カクテ ρ_1 ナルハ P_{n-1} ヨリ P_n へ至ル最短曲線ト、 P_n ト Q_n トノ間ヲ N_n 回往復スル (最短曲線ニ沿フテ) ノヲ全部加ヘタ曲線ガ有限ナ長サトナリ; ρ_2 ナルハ之ニ相當スル ϵ 1 が無限ニ長クナリマス。(以上) —— (一月十九日) ——